

**[中吐]カルボプラチン+ペムトレキセド+アテゾリズマブ療法**

外科  
 処方医:  
 適応症: 非小細胞肺癌  
 3週を1コースとし4コース、又は6コース投与

										1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
パンビタン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
メチコバル注	●																														
カルボプラチン										●																					●
ペムトレキセド										●																					●
テセントリク										●																					●

身長: \_\_\_\_\_ cm 体重: \_\_\_\_\_ kg 体表面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

[投与スケジュール] ( \_\_\_\_\_ クール目)

ペムトレキセド投与日1週間前から

薬剤名	投与量	
パンビタン(内服)	1g	1×朝食後 ペムトレキセド最終投与日から22日目まで連日経口投与
メチコバル注	2管	筋注 ペムトレキセド最終投与日から22日目まで3クール 毎に筋肉内投与

Day1 ( \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

本管		側管	
薬剤名	投与量	薬剤名	投与量
生食100mL	1瓶		
グラニセトロン静注液3mg	1管		
デキサート注	9.9mg		
<b>[30分 点滴静注]</b>			
生食100mL	1瓶		
ルート内フラッシュ		<b>インラインフィルター使用(0.2又は0.22μm)(テセントリク)</b>	
		生食50mL プライミング用	1瓶
		生食250mL テセントリク 1200mg/body [1時間 点滴静注] *(非炎症) インフュージョンリアクション注意 特に初回~2回に注意	1200mg
		生食50mL プライミング用	1瓶
		生食100mL ペムトレキセド 500mg/m <sup>2</sup> [10分 点滴静注][炎症] 生食で希釈し全量を100mLとする	全量100mL
		生食250mL カルボプラチン AUC6 [1時間 点滴静注][炎症性] アレルギー症状注意 複数回以上数分以内	1袋  プライミング

\* テセントリク: 忍容性良ければ、2回目以降は30分で投与可

DAY2( \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)~3( \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

薬剤名	投与量	
デカドロン錠	8mg	2×朝食後

カルボプラチン		ペムトレキセド	
[今回の投与量]	mg	[今回の投与量]	mg
[累積投与量]	mg	[累積投与量]	mg

[適正使用基準]

1. 組織診又は細胞診でIV期非扁平上皮非小細胞肺癌と診断された患者		
2. EGFR遺伝子変異陰性及びALK融合遺伝子陰性の患者		
3. 進行/転移性非小細胞肺癌に対する全身化学療法の治療歴がない患者		
4. ECOG PSが0又は1の患者		
5. 自己免疫性疾患の既往が無い又は家族歴が無い(慎重投与)		
6. 間質性肺炎がない又は既往がない(慎重投与)		
7. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす		
血液一般検査	Neut	1500以上
	PLT	10万以上
	HGB	9.0以上
血清生化学検査	GOT・GPT	施設基準値上限の2.5倍以下 肝転移を有する場合は5倍以下
	TBIL	施設基準値上限1.25倍以下
	Ccr	45mL/min以上
尿検査	蛋白、糖 etc...	施設正常値内
	血糖値	随時血糖288mg/dL以下
	TSH	施設正常値内

[DLF]

カルボプラチン: 白血球・血小板減少  
悪心・嘔吐  
ペムトレキセド 骨髄抑制  
カルボプラチン 腎障害時用量調節  
ペムトレキセド 腎障害時用量調節

副作用	条件	ペムトレキセド(注1、2)	カルボプラチン(注1)
血液毒性(注3)	好中球数<500/ $\mu$ Lかつ 血小板数 $\geq$ 50,000/ $\mu$ L	前回用量の75%	前回用量の75%
	血小板数<50,000/ $\mu$ L		
	好中球数<1000/ $\mu$ Lかつ 38.5℃以上の発熱	規定なし	
	血小板数<50,000/ $\mu$ Lかつ Grade2以上の出血	前回用量の50%	前回用量の50%
下痢	Grade3、4(止瀉薬使用下) 又は入院を要する場合	前回用量の75%	前回用量の75%
悪心/嘔吐	Grade3、4(制吐剤使用下)	規定なし	前回用量の75%
神経毒性	Grade0、1	規定なし	規定なし
	Grade2	前回用量の75%	前回用量の75%
	Grade3、4	前回用量の50% 又は中止	前回用量の50% 又は中止
トランスアミナーゼ上昇	Grade3	規定なし	前回用量の75%
	Grade4		中止
他の非血液毒性	Grade3、4	前回用量の75%	前回用量の75%

注1)2回の減量後にGrade3又は4の毒性が発現した場合、もしくは毒性のため63日間を超えて投与を延期した場合は投与を中止すること。非血液毒性が発現した場合、ベースライン値以下(又はGrade1以下)に回復するまで、最長63日間休薬すること。

注2)各サイクル開始時点でクレアチニンクリアランスが45mL/min以上に回復するまで休薬すること。

注3)各サイクル開始時点で好中球数が1500/ $\mu$ L以上かつ血小板数が100000/ $\mu$ L以上に回復するまで、最長63日間休薬すること。

[重大な副作用]

ペムトレキセド

- ・骨髄抑制
- ・間質性肺炎
- ・重度の下痢
- ・脱水
- ・腎不全

《カルボプラチン》

- ・汎血球減少等の骨髄抑制
- ・ショック、アナフィラキシー様症状

【チアノーゼ・呼吸困難・胸内苦悶・血圧低下等】

- ・脳梗塞【頭痛・意識障害等】
- ・急性腎不全【むくみ・尿量低下・検査値異常等】
- ・麻痺性イレウス

【食欲不振・悪心嘔吐・著しい便秘・腹痛・腹部膨満感等】

- ・間質性肺炎〔発熱・咳・呼吸困難・胸部X線異常等〕
- ・溶血性尿毒症症候群〔血尿・貧血・検査値異常等〕
- ・心筋梗塞、うっ血性心不全  
〔胸痛・むくみ・呼吸困難・チアノーゼ等〕